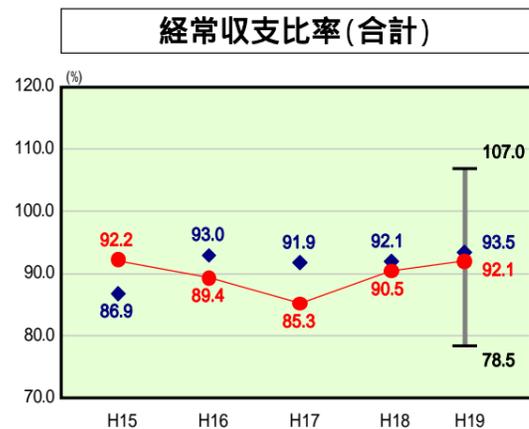


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岡山県 笠岡市

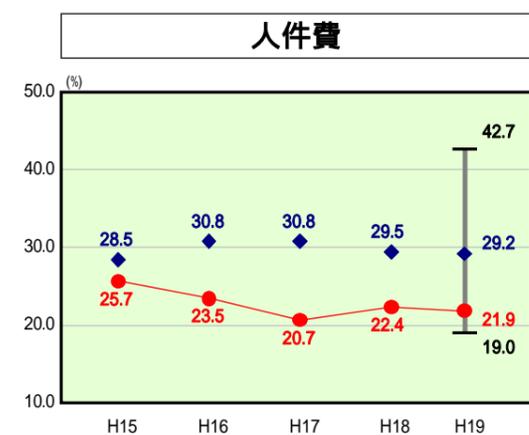
経常収支比率の分析



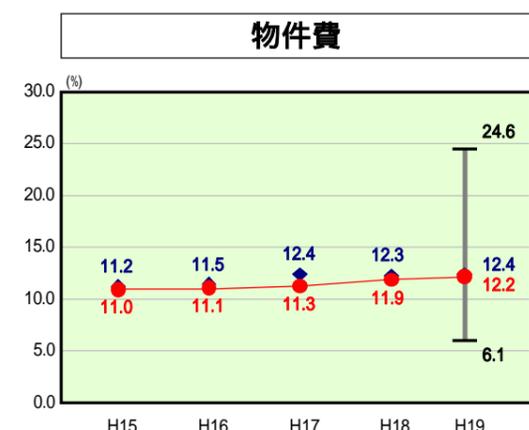
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 ⊥

人口	55,945 人(H20.3.31現在)
面積	136.03 km ²
歳入総額	21,305,801 千円
歳出総額	20,730,284 千円
実質収支	567,920 千円

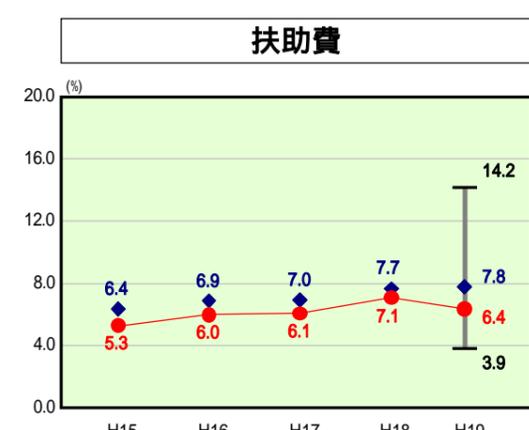
H19類似団体内順位 44/127
全国市町村平均 92.0
岡山県市町村平均 93.4



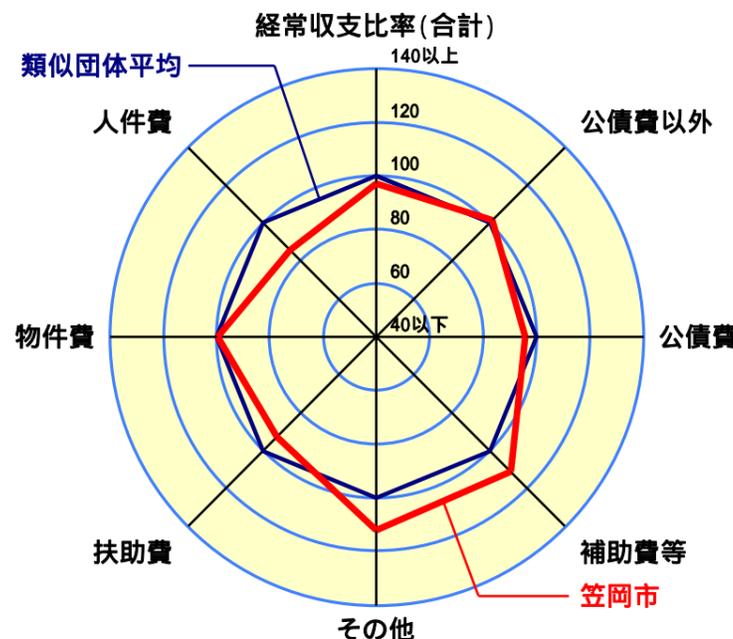
H19類似団体内順位 7/127
全国市町村平均 28.0
岡山県市町村平均 27.7



H19類似団体内順位 64/127
全国市町村平均 13.1
岡山県市町村平均 11.7



H19類似団体内順位 32/127
全国市町村平均 8.8
岡山県市町村平均 8.6



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費:平成16年度から3年間の退職者不補充の実施による職員減員により、経常収支比率においては類似団体平均値に対し低くなっている。しかし臨時職員の賃金や一部事務組合の人件費分に充てる負担金といった人件費に準ずる費用を合計した場合の人口1人当たりの歳出決算額は類似団体平均を上回っており、今後はこれらも含めた人件費関係経費全体について、抑制していく必要がある。

物件費:類似団体間ではほぼ平均、全国市町村平均に対しては下回っている。今後も民間委託の推進や内部事務の効率化を図り、経費の節減に努める。

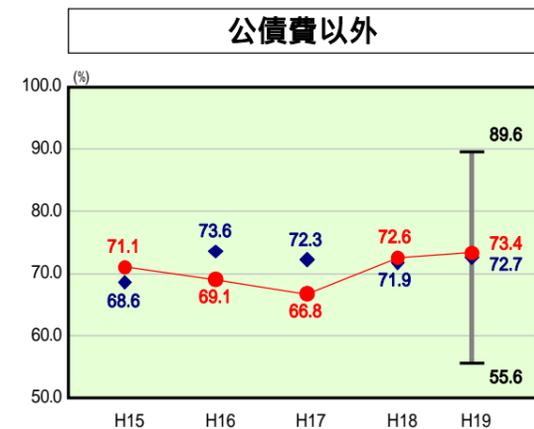
扶助費:類似団体を1.4%下回っている。今後、増加が見込まれるが適切な住民サービスを維持出来るよう努める。

公債費:起債額の上限を15億円に定め、地方債残高の縮減を図った結果、経常収支比率においては類似団体平均を下回っている。しかし下水道事業などの公営企業債の元利償還金に係るものなど公債費に類似の経費を合わせると、人口1人当たりの決算額は類似団体平均を19.9%上回っている。今後は公営企業等も合わせて公債費の適正化に努める。

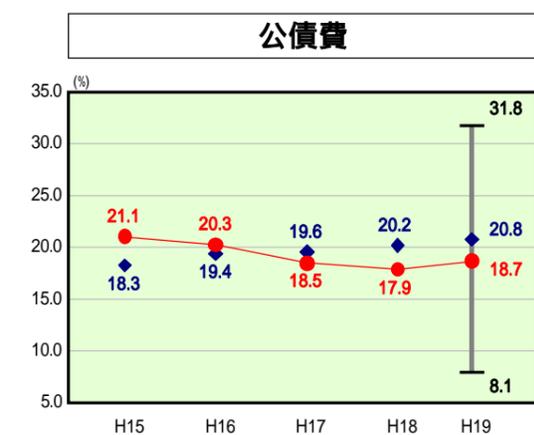
補助費等:病院事業会計への補助金、一部事務組合の維持管理等による負担金が多額なため、類似団体、全国市町村の平均に対し大幅に上回っている。病院事業の健全化を進めるとともに、各種補助金の見直しなどを行い、適切な支出に努める。

普通建設事業費:財政健全化計画に従い、事業の精査、起債額の上限設定を行い事業費の削減に努めた結果、平成16年度から類似団体を下回っている。今後も引き続き事業の精査に努め、財政規模に対して適正な事業実施に努める。

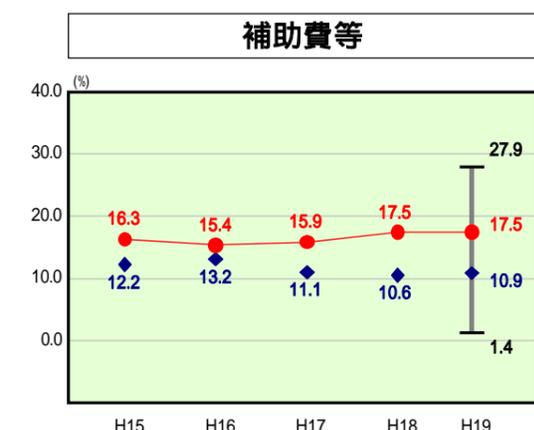
その他:類似団体の平均を3%上回っており、下水道事業会計及び介護保険会計への繰出金が多くを占めている。下水道事業は計画的に健全化を進めているが、より一層の取り組みが必要である。



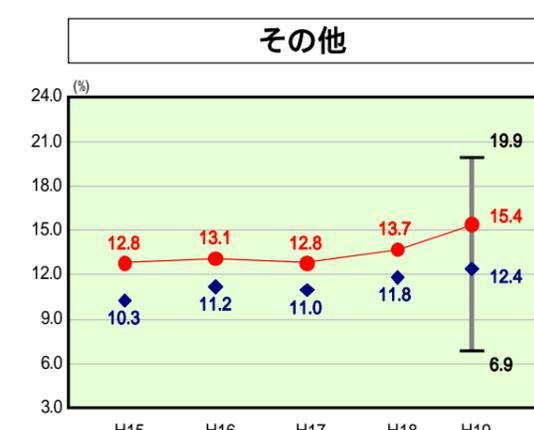
H19類似団体内順位 59/127
全国市町村平均 71.7
岡山県市町村平均 71.1



H19類似団体内順位 53/127
全国市町村平均 20.3
岡山県市町村平均 22.3



H19類似団体内順位 108/127
全国市町村平均 10.4
岡山県市町村平均 7.7

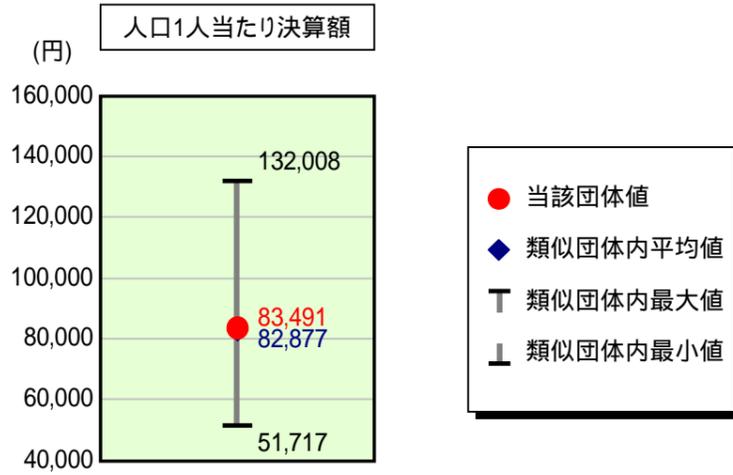


H19類似団体内順位 111/127
全国市町村平均 11.4
岡山県市町村平均 15.4

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岡山県 笠岡市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

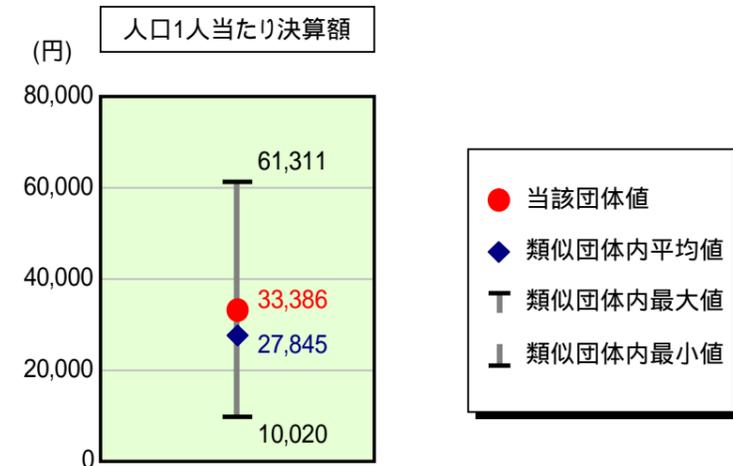
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	3,541,022	63,295	76,156	16.9
賃金(物件費)	313,057	5,596	3,509	59.5
一部事務組合負担金(補助費等)	758,091	13,551	6,459	109.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	76,920	1,375	922	49.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	3	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	205,677	3,676	3,029	21.4
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	67,828	1,212	1,632	25.7
退職金	291,675	5,214	8,834	41.0
合計	4,670,920	83,491	82,877	0.7

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.90	8.23	1.33
ラスパイレース指数	99.6	97.3	2.3

ラスパイレース指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

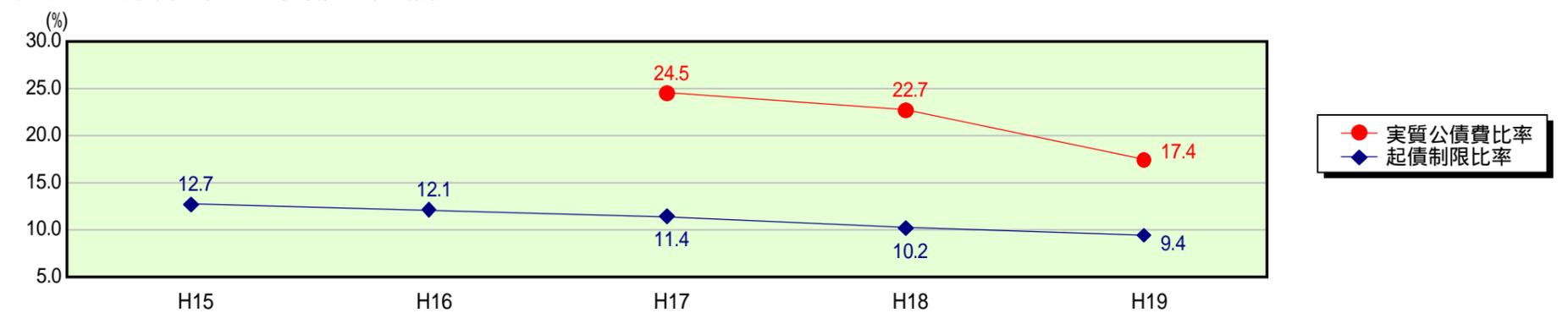


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	2,223,219	39,739	43,825	9.3
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	26	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,246,568	22,282	12,727	75.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	696,286	12,446	4,402	182.7
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	315,874	5,646	2,098	169.1
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	34	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	2,614,190	46,728	35,265	32.5
合計	1,867,757	33,386	27,845	19.9

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

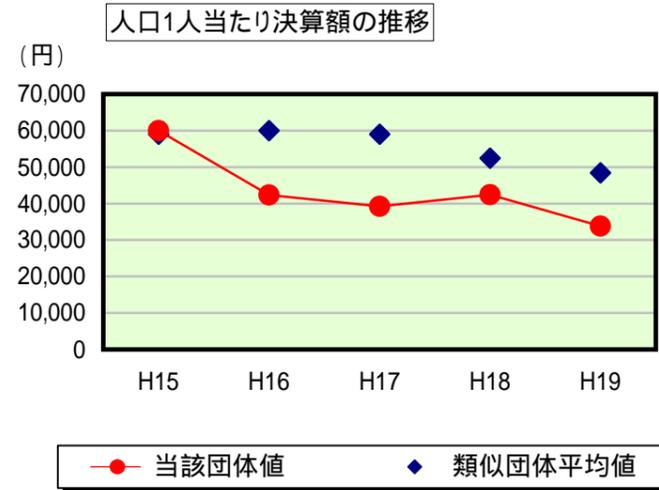
参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

岡山県 笠岡市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	3,498,967	59,966	26.9	58,976	12.4	14.5
うち単独分	2,545,885	43,632	5.2	37,803	6.5	11.7
H16	2,445,686	42,338	29.4	59,990	1.7	31.1
うち単独分	1,221,794	21,151	51.5	35,137	7.1	44.4
H17	2,252,651	39,266	7.3	59,039	1.6	5.7
うち単独分	1,161,177	20,240	4.3	34,986	0.4	3.9
H18	2,405,290	42,460	8.1	52,453	11.2	19.3
うち単独分	1,255,096	22,156	9.5	30,509	12.8	22.3
H19	1,893,761	33,850	20.3	48,408	7.7	12.6
うち単独分	1,062,923	18,999	14.2	26,937	11.7	2.5
過去5年間平均	2,499,271	43,576	15.2	55,773	6.2	9.0
うち単独分	1,449,375	25,236	11.1	33,074	7.7	3.4